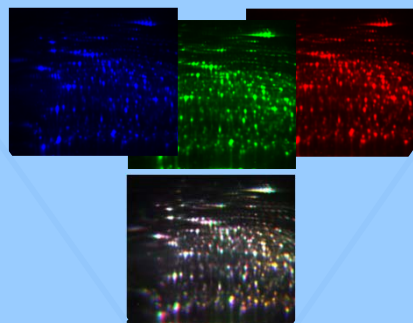
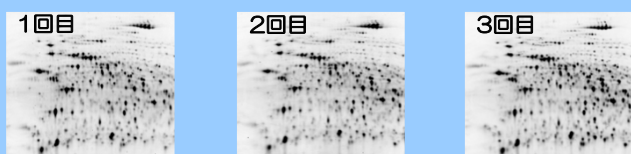


■ 電気泳動法の自動化技術・サンプル調整法・アプリ事例のご紹介

<Auto2D>

- 等電点/SDS-PAGEの2次元電気泳動を自動化
- セットアップは、ピペッターが扱えれば、約10分間で完了
- 従来、実質2日を要した泳動が、最短約100分間で終了
- 等電点分解能 0.02 pH
分子量分解能 2 kDa
(リン酸化シフトをクリアに分離・検出可能)



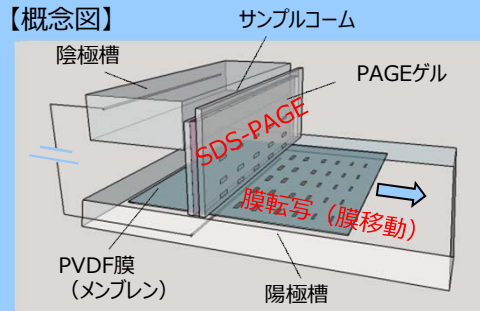
<Direct Blot> ※速報版



- SDS-PAGEから転写までを自動化
- 高再現性/高転写効率を実現
位置再現性 CV値1.64%<5%
転写効率 ~90%
※高分子領域は確認中
- 「排出転写方式」を採用 スマイルングが少なく、見たい分子量領域をズームして転写が可能

※SDS-PAGEゲルを垂直に立て、タンパク質を下向きに泳動させ、ゲルから出た所で、膜を移動させながら連続的に転写

【概念図】



※本内容は速報版のため、今後変更になる場合がございます。

従来の二次元電気泳動法による分析は、熟練した研究者が約2日掛かり、その上、各工程の操作が難しく十分な再現性が得られない、などの課題がありました。そこで、サンプル導入→膨潤→1次元目泳動→2次元目泳動までの複数の分析作業工程を全自動化・最適化することで、時間の短縮と(従来法の約10分の1、100分間)高い再現性の実現が求められています。本セミナーでは、セットアップが簡便かつ高分解能なシャープ社の全自動二次元電気泳動装置「Auto2D」を用いたアプリケーション事例やサンプル調整法のポイント等について、ご紹介させていただきます。

また、ウェスタンブロットングにおけるSDS-PAGEから転写までを自動化し、スマイルングが少なく、見たい分子量領域をズームして転写が可能、高再現性/高転写効率を実現する排出転写方式を採用した「DirectBlot」も合わせてご紹介いたします。

日時：2015年1月21日(水) 17:00~18:00

場所：健康医科学イノベーション棟8階講堂

演者：矢部公彦(シャープ) 岸田陽二(シャープマニファクチャリングシステム)

■ 1/26(月)-27(火) 個別デモ：サンプル調整&操作のご説明 (Auto2Dのみ)

デモご希望者先着4名様までに、実サンプルにてデモを試行頂けます。サンプル調整から操作方法まで個別にご説明させていただきます(泳動は各2回まで)。詳細は下記までお問合せください。

学内問合せ先：川口 敦史(内線3942)

お問合せ先：シャープマニファクチャリングシステム(株) 新規事業推進室

岸田、小西 TEL:072-991-0276

kishida.yohji@sharp.co.jp konishi.kenichiro@sharp.co.jp

主催：筑波分子医学協会(TSMM) 協会代表 高橋 智

HP: <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>